

木製プランターづくり(西荒瀬保育園)

10月23日(木)、酒田市西荒瀬保育園年長組(そら組)園児33名を対象に、今年度第9回目の森林環境教育プログラム、木製プランターづくりを実施しました。



(大きな声でクロマツの歌をうたいました)

去る10月3日(金)、鳥海高原にて採集した、ミズナラ、グミ等の種子を植付けるためのプランターです。

最初に、園児による「クロマツのうた」の披露がありました。

回を重ねる毎に、発声も大きくなってきており、自信の程が見受けられました。

さて、いよいよメインのプランターづくりの



(カナヅチの使い方が上手になりました)



開始です。8グループに分かれ、カナヅチを上手に使って釘を板に打ち込みます。

力が余り、釘が曲がってしまう場面もありましたが、園児たちは「見せてみせて」と珍しそうに曲がった釘を触り、驚いていました。失敗も大きな勉強ですね。プランターを組立てた後は、園児が思いおもしろい絵を描き、個性豊かなプランターができました。

(心を込めて種を植えました)

がりました。

その後、土を入れ、鳥海高原から持ってきた種を植付け、「元気な芽が出ますように」との思いを込め、園内敷地に設置しました。

佐藤園長先生から「カナヅチの使い方が非常に上達していて驚いた」とのコメントのおおりに、すばらしい上達を園児たちは見せてくれました。

とにかく何事にも吸収力が早い園児たちに、たくましさを感じるとともに、今後の実施にあたっての励みとなった日となりました。



(それ、みんなで運ぶぞ)



(みんな上手にできました!)